

## 2022年度未来ファンドおうみの助成基金 採択団体一覧

### ①びわこ市民活動応援基金A

	団体名	事業名	事業内容	助成額
1	ぼてじゃこトラスト	ぼてじゃこワンプク塾、自主企画で「居心地の良い、居場所づくり」を盛り上げよう	子どもたちに川遊びや雑魚捕りを体験してもらい、川遊びや雑魚捕りを滋賀県の伝統文化として継承してほしいとの思いのもと、親子で学ぶ自然体験教室「ぼてじゃこワンプク塾」を実施しています。今年度は、通常の活動に加え、一昨年からスタートした「ワンプク頑張り隊」の自主企画として、幼児読み聞かせ教室、ミニ生き物講座、流木工作、大津絵教室、親世代のおしゃべり交流会、ナイトトラップなどを開催します。	100,000
2	あいとうふくしモール運営委員会	暮らしの安心を応援する「ほんなら堂」強化事業	愛東地域では高齢者の通院や買い物が課題となっており、様々な日常生活の困りごとを抱え不安な毎日を送っている現状があります。この事業では、困りごとの相談を受け、通院や買物の付添、買物代行、ゴミ出し、除草、除雪、軽微な器具の取替え、畑のそうじなどを支援します。国や県の制度だけでは支えられない暮らしの困りごとのお手伝いをし、高齢者が孤立することなく地域で安心して暮らしていけるよう応援します。	300,000
3	うしかい田んぼアート実行委員会	うしかい田んぼアート実行委員会	信楽高原鐵道は、沿線住民からの強い要望と甲賀市等の支援により存続してきましたが、現状もなお収支が厳しい状況下にあります。この事業では、田んぼアートを通じて信楽高原鐵道の利用者を増やし、地域を支える鐵道を応援するとともに、地域との協働・連携により地域の活性化を図ります。また、田植えや稲刈り体験を通じて、農地を耕し、種を播き、苗を育て、水管理などの世話をし、実りを収穫することの喜びと食料の大切さを学ぶ機会を提供します。	300,000

### ①びわこ市民活動応援基金C

	団体名	事業名	事業内容	助成額
1	NPO法人 CASN	フードドライブせいらん	地域の居場所、「晴嵐みんなの食堂」。そこに参加する子どもたちの中には、お昼の給食だけで過ごしている子もいます。毎日多くの食材がロスになり廃棄される一方で、そういった現状があります。この事業では、コロナの影響で廃業となるレストランや急な休校で使われなくなった給食用の食材などを、コロナの影響で困窮している方々に届けます。身近なところから食品ロスをなくし、本当に必要としている人のもとに届け、一人も孤立させない地域社会をめざして活動しています。	100,000

### ②びわ湖の日基金

	団体名	事業名	事業内容	助成額
1	いしみち里山保全グループ	石道100年の山林保全整備事業	長浜市木之本町石道自治会地内は、古来より続いた典型的な里山ですが、近年、少子高齢化や過疎化の影響で周辺の森林や休耕地が荒廃してきました。健全な森を復活させるため、5年前より林道等の路網整備を行っています。今年度は、昨年に引き続き重機を使った路網整備と山の資源活用のための松茸山復活を進めます。限られた森林の永続管理とその森林から持続的に収入を得ていく「自伐型林業」をめざし、地域の後継者を育成していきます。	300,000
2	特定非営利活動法人 甲賀の環境・里山元氣会	自然の中で楽しく遊んで、里山・森林の大切さをしっかり学ぼう！	里山元氣会は、元気で豊かな里山を育て、維持し、活用する活動を通じて、地域に里山づくりを広め、子どもたちが自然の大切さを学ぶ機会を提供してきました。今年度は、冒険の森の広場の設置や里山整備のほか、クラフト教室、パン焼き教室、椎茸作り体験、サツマイモ栽培体験、キノコ体験、森の音楽会といった体験型教室を実施する予定です。また、やまのこ教材づくり、キノコ観察、植樹体験など、森林の重要性を学ぶ環境教室も充実させていきます。	300,000

### ③積水化成品基金

	団体名	事業名	事業内容	助成額
1	NPO法人 環境と農業の融合を考える会 鹿深の杜	浄化水路による水質保全	鹿深の杜は、これまで、会員、甲賀市からの高齢者ボランティア、地域住民が力をあわせて耕作放棄地の復元や里山整備、周辺の環境保全を行ってきました。今年度は今までの集大成として、排水溝の整備、水路やため池からの濁水や農業用排水の水質浄化を行い、健全な水環境を整えます。また秋には、市民農園で収穫した野菜等で収穫祭を開催し、地域の方をはじめ、参加者相互の親睦を図ります。	200,000

### ④笑顔あふれるコープしが基金

	団体名	事業名	事業内容	助成額
1	「街かどアート展」実行委員会	「街かどアート展」～みんなの光～	地域で暮らす障がいのある方々が制作されている陶芸、絵画、写真などの作品の多くは、事務所や家庭で保管され、身近な地域で住民の目に触れる機会が少ないのが現状です。この事業では、巡回型展覧会として湖東圏域(彦根市、愛荘町、多賀町、甲良町、豊郷町)にて「街かどアート展」を開催します。この活動を通じて、障がいのある人に対しての地域住民の理解が深まり、差別や偏見がなくなり、地域共生社会が実現していくことをめざしています。	100,000
2	子どもミュージアムをつくる会	木のおもちゃで遊ぼう	子どもたちは、遊びや体験を通して生きる知恵を学びます。子どもの健やかな成長には、様々なおもちゃ遊びを提供できる場所が必要です。この事業では、子どもミュージアムのスタッフが、長く使えて家族で遊べる木のおもちゃを設計、制作し、子どもたちに新たな遊びの場を提供します。具体的には親子で遊べる大きなバランスボードゲームや、お店屋さんごっこの屋台、壁掛け万華鏡を制作する予定です。	100,000
3	草津おみやげラボ	あなたの発見が紡ぐまちのお宝発掘！デジタル活用でまちづくり	草津市駅前エリアは県外からの移住者も多く、地域への愛着や誇りを持たない人が増えています。この事業では、滋賀県産木材のワークショップ、草津焼体験、水鳥観察、農業体験などの体験イベントを実施し、地域住民に知見を広げる機会を提供します。また、web地図アプリの入力や紙ベースでのすごろく&カードゲームの作成を行います。デジタルを活用しながらヒト・モノ・コトの交流を行い、楽しみながら地域への愛着や誇りを持つ心と、安心して暮らせるつながりを作ります。	100,000

### ⑤ナカザワNEOフレンドシップ基金

	団体名	事業名	事業内容	助成額
1	特定非営利活動法人 米原市多文化共生協会	悩みを話して共有する場の提供「エスパツ アルコ イリス 米原」	多くの外国籍市民の方が、言葉の壁や地域での交流機会がないことにより、子育てや教育関係において様々な不安を抱えています。この事業では、外国にルーツを持つ児童・保護者の居場所や、子育て中の親子がコミュニケーションを取れる場を提供し、外国籍の子ども達と日本の子ども達とが交流を深める機会をつくります。具体的には、心のオアシス事業(悩みを共有する場の提供)、昔の遊び教室、習字教室、多国籍屋台出店、食文化体験事業、多文化交流会などを実施する予定です。	100,000

## ⑥げんさん食育NPO基金

	団体名	事業名	事業内容	助成額
1	認定特定非営利活動法人NPOほほハウス	「体感」「視覚」「味覚」「語り」で育てる「やさいづくり」	障がい児童通所施設「はばたき」の子ども達は、コロナ禍で多くの活動が制限され地域との交流の場は激減しています。この事業では、野菜を作る体験などを通して、地域や他法人の障がい者の方との交流の機会を創ります。具体的には、高齢者に調理レシピを教えてもらって紙芝居などで他児に伝授したり、季節にあった農作物を育て「おすそ分け」したりする予定です。これらの食育活動を通じて、子どもたちが「食」への興味を深め、健やかにたくましく育っていくことを目的としています。	91,000
2	一般社団法人スマイルコム	障がいをもつ子ども・若者のためのクッキング活動および外食支援	障がいをもつお子さんがいる家庭では、子育てに関し様々な悩みを抱えており、多面的な支援の必要性が高まっています。この事業では、発達障がい・知的障がいなどの障がいをもつ子ども・若者を対象に、実体験活動（食育活動）を実施します。具体的には、食材の買出し体験、調理体験、外食体験などを行います。これらの体験を通じて、障がいのある方の自立・成長につなげるとともに、自信や自己肯定感を育みます。	100,000

## ⑧びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金①

	団体名	事業名	事業内容	助成額
1	ママサポートこうか	木育！妊婦さん、ママ、赤ちゃんに木を使う大切さを伝える	ゲーム機の普及などにより、子どもが外で遊んだり自然にふれたりする機会はなくなってきました。この事業では、母親が妊娠期の頃から自然にふれ、自然の素晴らしさや木の素晴らしさを生まれてくる子供へ伝えていけるような機会を創ります。具体的には、森の自然散歩をしながら木への関心を高めたり、ママから赤ちゃんへのプレゼントとして木のぬくもりチャームや木のスプーンを制作するイベントを開催します。	100,000

## ⑧びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金②

	団体名	事業名	事業内容	助成額
1	東近江市あらゆる場面で木を使う推進協議会	100年の森づくりビジョン 東近江市・あらゆる場面で木を使うプロジェクト	近年、生活様式や価値観の変化によって地元産の木材は利用されず、森林の荒廃はすすみ、森林が本来持っている公益的機能は失われつつあります。この事業では、東近江産の木材を使用した玩具や遊具による木育イベント「おいてく木育」「木育ミニパーク」を各地で実施し、子ども達をはじめ多くの人々が木に慣れ親しみ、森林や自然環境の大切さを学ぶ機会を提供します。東近江市産の木の良さを広くアピールすることで、地元産木材の利用を促進していきます。	300,000